

古賀市地域公共交通計画における取り組み状況等について

○古賀市地域公共交通計画について

令和6年3月に策定した古賀市地域公共交通計画において、将来像「まちを支え、地域をつなぐ持続可能な公共交通」と掲げ、令和6年度から令和10年度において各施策・事業に取り組むこととしており、令和6年度の主な取り組み状況は以下のとおり。

【施策1. 交通ネットワークの再構築（計画：41～44ページ）】

事業1－1：現行路線の見直し（階層化）

①西鉄バス古賀市内線・コガバスの一体的な見直し

- ・令和6年10月1日よりコガバス（小竹線）の運行を開始し、令和7年1月27日よりJR新宮中央駅（新宮町）まで延伸。今後も周知啓発を図り利用促進に繋げていきたい。併せて、利用実態を把握しつつ地域住民のニーズを踏まえ、ダイヤ見直し等について検討していく。
- ・地域住民が主体となり今後の地域公共交通を考えていかないといけないといった意識の醸成を図っていきたい。
- ・コガバス（小竹線）と、西鉄バス市内線（小竹系統）の一体的な見直しについて研究していく。
- ・令和7年度よりコガバス（JR古賀線）のダイヤ改正を検討中。

②のるーと古賀の見直し

- ・令和6年12月1日より予約方法の拡充を行った。アプリ利用登録が不要で、乗車の予約が可能である「のるーとダッシュ」を、JR古賀駅、古賀市役所、リーバスプラザこが、サンコスモ古賀に設置。また、古賀市LINE公式アカウントからも乗車の予約ができるように整備した。しかしながら、「のるーとダッシュ」や「LINE」からの予約が少なく、今後も周知啓発が必要であると考えている。
- ・現在の利用状況等を踏まえ、運行効率向上の観点から、実験的に令和7年度より1日1台で運行を予定。（現在は平日1日2台、土日祝1台で運行中）
- ・コールセンターによる電話予約の受付を廃止し、市役所にて電話予約の受付を行う。

事業1－2：対応する移動ニーズの拡大

- ・令和6年11月より久保区において、おでかけタクシーが導入された。令和5年度に出前講座をきっかけに、地域の公共交通について考える機会が増え、おでかけタクシーの導入に至ったと認識している。

事業1－3：運転士の確保

①公共交通分野への就職促進

- ・令和7年3月22日から31日までの期間中、市内の公共交通に無料で乗車できる「古賀市無料デー」の実施を検討しており、対象は西鉄バス市内路線とコガバスを予定。直接的な就職促進支援策ではないが、例えば、小学生が公共交通を利用することによって、公共交通に愛着を持ってもらい、ゆくゆくはその職業を目指していただくということにも期待したいと考えている。

②二種免許取得支援制度の検討

- ・令和7年度より、二種免許取得に要する費用の一部を助成することについて検討中。

【施策2. 公共交通を利用しやすい環境の整備（計画：45～48ページ）】

事業2－1：駅や主要停留所における待合環境の整備

・JR古賀駅西口、JR千鳥駅及び福岡東医療センターにスマートバス停を設置し、画面のレイアウトについて現在構築中。時刻表が見やすくなり、運行情報や緊急情報等を即時に確認できるようになる。

事業2－2：公共交通に関する情報周知の強化

・時刻表の配布や、広報こがにおける公共交通を特集した記事の掲載、古賀市公式ホームページや古賀市公式LINE等による時刻表や路線図の情報発信を行った。公共交通を交通手段として選んでもらえるきっかけをつくるため、今後も周知啓発に努めていきたい。

事業2－3：多様な交通サービスの一元化に向けた調査・研究

①情報の一元化に向けた調査・研究

・福岡県が取り組むMaaS施策の事業概要等について情報収集等を行った。必要性や事業効果については、研究していきたい。

②新たな料金体系等の導入に向けた調査・研究

・ニーズや必要性について検証し、研究していきたい。

【施策3. 利用の促進（計画：49～51ページ）】

事業3－1：戦略的モビリティ・マネジメントの実施

①公共交通の利用を促す情報提供

・時刻表の配布や、広報こがにおける公共交通を特集した記事の掲載、古賀市公式ホームページや古賀市公式LINE等による時刻表や路線図の情報発信を行った。公共交通を交通手段として選んでもらえるきっかけをつくるため、今後も周知啓発に努めていきたい。

・「のるーと古賀」に、令和6年9月20日から10月20日までの期間に10回以上乗車した方に対して、400円割引クーポンを配布し利用促進を図った。

②集会・イベント時における利用喚起

・市が関連する行事、イベント等については、来場の際には公共交通機関での利用を推奨しており、周知の際にはチラシやSNS等を活用し、公共交通での来場を促す呼びかけを行っている。

事業3－2：公共交通の使い方講座等の開催

①子どもを対象としたイベント等の開催

・ゴールデンウィーク期間中に「のるーと古賀」を利用された子どもを対象に「お菓子の詰め合わせ」を配布。

・健康福祉まつり（10/20）やまつり古賀（11/17）等のイベント開催時に、「のるーと古賀」のユーザー登録ブースを設けて、「のるーと古賀」の周知啓発と新規ユーザー登録の募集を行い、新規会員登録者を増やし、利用に繋がるような取り組みを行った。

・JR九州の事業である「こどもぼうけんきっぷ」について、周知を行った。

※こどもぼうけんきっぷ…小学生限定で7/20～9/1までJR九州の普通・快速電車で100円で乗車できるきっぷ

②高齢者を対象とした使い方講座の開催

・のるーとアプリ利用相談会を開催。1回あたりの相談者数は約5人程度。
（開催日：7/2、8/6、10/1、11/5、12/3、1/28 時間は9時～16時）

・健康福祉まつり（10/20）やまつり古賀（11/17）等のイベント開催時に、「のるーと古賀」のユーザー登録ブースを設けて、「のるーと古賀」の周知啓発と新規ユーザー登録の募集を行い、新規会員登録者を増やし、利用に繋がるような取り組みを行った。

【施策4. 様々な主体の参画・連携強化（計画：52～56ページ）】

事業4－1：市民の参画強化

①地域が主体となった取組の促進

・令和5年度から小竹地区の地域協議会が立ち上がり、地域の移動ニーズ等を踏まえあらゆる方策を検討した結果、コガバス（小竹線）の実証運行に至った。地域住民が主体となり、今後の地域公共交通を考えていかないといけないといった意識は少しずつ醸成されているのではないかと感じる。

・その他の地区においても、出前講座の依頼があり、地域協議会の立ち上げについて質問等があったりと、高齢者になった時の移動手段の確保をどうしていくかといった問題意識を持たれている印象を受けた。

②市民との利用状況の共有

・公共交通を維持していくための地域住民の当事者意識や責任感の向上を図るため、公共交通の利用状況等について市のホームページ等で定期的に公開することについて検討中。

事業4－2：多様な分野との連携強化

・教育委員会において、市内の小学1年生から3年生を対象に、通学定期券の一部を補助する取り組みを検討するにあたり、交通事業者との調整を行い事業の実施に向けて連携を図った。

事業4－3：隣接市町との連携強化

・しこふむ地域（新宮町・古賀市・福津市・宗像市）において、交通連携会議を2回開催し、情報交換、意見交換等を行った。

事業4－4：企業との連携強化

・企業と連携した公共交通の在り方について模索していきたい。